

暮らしの瓦版

2022年
新年号

(通算第279号)



謹賀新年

あけましておめでとうございます。
本年もよろしく願い申し上げます。



新年のご挨拶

株式会社大五建設

代表取締役 渡辺雅彦

みなさま、新年あけましておめでとうございます。旧年中はたいへんお世話になりました。誠にありがとうございます。さて、昨年三月に高橋前社長から代表取締役を引き継ぎ、十カ月が経ち、初めての新年を迎えることができました。この間、たくさんのご愛顧をいただきました。誠にありがとうございます。弊社では、昨年十二月七日をもちまして、創立四十八周年を迎えることができました。昭和四十九年の創立以来、地域のみなさま方の「ご支援、ご協力」により、建設会社として事業を営んでいくことができました。深く感謝申し上げます。これからも、地域のみなさまに必要とされる会社であり続けるよう、社員共々精一杯業務に取り組んでいく所存でございます。本年もよろしく願い申し上げます。



～ 1月《睦月むつき》～

1日 元日
5日 囲碁の日
7日 七草
10日 110番の日
成人の日

15日 小正月
17日 防災とボランティアの日
26日 文化財防火デー
27日 国旗制定記念日
29日 昭和基地開設記念日



謹賀新年

新春特別企画！

漢字問題を解こう！

くオカードプレゼントく

今年はクロスワードパズルではなく、漢字問題（読み）を実施します。全問正解者の中から抽選で10名の方に対し、3千円分の「くオカード」をプレゼントいたします。当選者は2月号で発表します。当選者の地域名と氏名を掲載いたしますので、「く承いただけの方のみ」応募ください。

1. 破魔矢
2. 睦月
3. 注連縄
4. 雑煮
5. 金団
6. 屠蘇
7. 点袋
8. 御御籤
9. 独楽
10. 骨牌

応募ご希望の方は、すべての解答（ひらがなの読み方、氏名、住所、電話番号、気に入っている記事と感想をハガキに書いて、1月8日（土）必着でお送り下さい。

【送り先】〒370-2456

富岡市上小林216の2 (株)大五建設 漢字クイズ係宛

大島鉱泉

富岡市上高瀬にある北向き観音様の近くに位置する大島鉱泉は、地元では「榊の湯」と呼ぶ方もいるそうです。天然温泉を引いた銭湯のようで、貴重ですね。大正初期、井戸を掘って湧く水を飲んで胃腸の調子が良くなったり、腫物が治ったりしたそうです。戦後、井戸水利用の銭湯として利用され、後に旅館が併設されたとの事です。胃腸病、神経痛、リュウマチなどに効能があると言われていました。利用されているお湯は無臭で無色透明です。水素イオン濃度はPH9.2と弱アルカリ性です。昔ながらの薪でお湯を沸かしているとの事です。



初夢

皆さん、今年の初夢はいかがでしたか？良い夢を見た方、憶えていない方、変な夢を見てしまったという方もいるかと思えます。良い夢を見るためには、枕の下に七福神の乗った宝船の絵を入れると良いみたいです。来年、チャレンジしてみたいかがでしょうか。初夢は、いつ見た夢を基準とするのか諸説あるようです。「大晦日から元日」「元日から二日」「二日から三日」「節分から立春」等。また縁起の良い夢として「一富士、二鷹、三なすび」とよく言われます。新しい年、寝てみる夢もよし、目を覚まして現実の夢に向かって活動するもよし、皆様にとって今年が最高の年になります様、お祈り申し上げます。



文化財防火デー

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損してしまいました。この事件は国民に強い衝撃を与え、火災など災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まりました。翌年に文化財保護の統括的法律として文化財保護法が制定されました。その後、昭和29年11月3日に法隆寺金堂の修理事業が竣工し、文化財保護行政も確立しました。また、文化財保護思想の一層の強化徹底を図るために、普及啓発事業が行われるようになりました。そして昭和30年に1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を災害から守ろうとする文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

委員会のご紹介

～人材育成委員会～

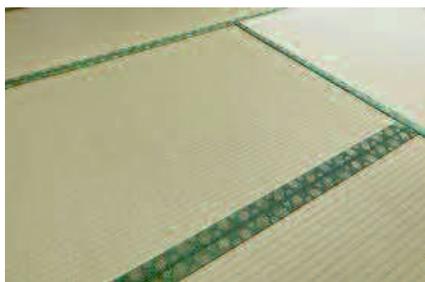
最後にご紹介する委員会は「人材育成委員会」です。この委員会は、社員の自己啓発（読書の推進など）や個人目標達成のための補助、スキルアップ（資格取得など）、礼儀マナーの向上、報連相の強化を目的として活動しています。組織力の強化や社員教育といった、会社の根幹に大きく関わる重要な役割を担っています。宜しくお願い致します。



左から前原、高田
宮本、佐藤祐貴

畳の語源

現代のような畳が出来たのは、平安時代だと言われて
います。しかし、当時は床一面に敷き詰めるのではなく、
部屋の一部に畳一枚敷き詰めて使われていました。
これが室町時代になると、床一面に敷き詰める書院造の
様式が登場して、現代に引き継がれています。畳と呼ば
れる敷物は、平安時代よりも遙か昔に誕生しており、「む
しろ」や「じゆ」などの薄い敷物の総称でした。この時
代の畳は、その名の通り使用しない場合はたたんで収納
されていたそうです。このことから「畳」という言葉が
生まれました。その後、畳そのものが厚く、大きくなっ
ていったのだそうです。



自然を大切に

ゴミは持ち帰りましょう！！



上毛かるた

「上毛かるた」が誕生したのは、昭和22
年12月のことです。終戦間もない頃で、後
の群馬文化協会初代理事長、浦野匡彦氏は「子
供たちに何か明るく楽しく、そして希望の持
てるものはないか」と考えました。この思い
が形となり「上毛かるた」が誕生しました。
現在でも、小学校では冬休み中に「上毛かる
た」の練習をするところが多いようです。故
郷の伝統的なかるたを楽しんで継承していけ
ればと思います。

〈発行〉 次回発行予定 1/22 (土)

住まいの事なら
何でもご相談ください！



株式会社大五建設

住所 富岡市上小林216-2

TEL 0120-388-406

(通話料無料)

求人募集!!

施工管理(現場監督)
営業、経理総務

詳しくは下記までご連絡
ください。お待ちしております。

0120-388-406

(担当：都丸)

